事務事業ID 0765

平成 29 年度

事務事業評価シート

平成 29 年 7 月 31 日作成

	事	務事業名	岩手県市町村選挙管理委員会連合会運営事業						□ 実施計画登載事業				□ 総合戦略登載事業				
		政策名	··· <u>···········</u> ······················	立した	.行政経営の		事業期間				A =1			4目	± 444		
政策体	施策名 0:7:7=000 施策名 3:0:3 効率的で						単			会計	款	項	目	事業			
14系		基本事業名			見の行政運営				年度繰返		,	01	02	04	01	03	
		型型	0 1 /~	/K <u> </u>		1->10->			(開始 昭和	in25 年度 ²	~)		事務事	丰当	業区分		
部課名 選挙管理委員会事務局								期間限定複数年度					A 政策事業 B 施設整備				
所 課長名 田中 聖一 属 係 名 担当者 山田 宏基					i i	-27-3111 168	【計画期間】 年度 ~ ※全体計画欄の総投入			年度 C 施設管理 F 一般(A~D				補助金			
		事業の概要	(具体的な	やり方	、手順、詳紙	田。期間限定複 額	数年度事業は全	≥体像	を記述)	全		画(※	期間限定	?複	数年度σ	りみ)	
						として、気仙二市 事務局としての事	i一町の選挙管理	委員会	で構成され	る、岩			支出金	I			
糸	会纷	、役員会、研	修会等を開	催し、遺	選挙業務に関		未進西。 【集等を行うほか、	国、県	の選挙時に	は共総	財事 源		府県支出金 h 士 <i>(</i> 手	4			
)選挙啓発活			<u></u> 5.					は共 <mark>総</mark> 投入	業内訳		也方債 その他	+			
事業費は、構成市町の分担金として					又山合いる。							_	般財源				
													計(A) (従事人数	il-		0	
													務時間	X			
										~ <u> </u>	費	人件費	計 (B)			0	
											トータ	ルコスト(A)+(B)				0	
		状把握の部															
		務事業の目 段(主な活動						<u> </u>	活動指揮	(事務事業の活	하무소크	E-J-+15-12E-	\				
		段(王は旧事 <mark>度実績(前年</mark>		た主な	活動)			9	/ /口 <i>3</i> //] 日 1示	名利		又 9 1日1示	/		単位	立	
気仙二市一町の選挙管理委員会の連合会の運営業務。 総会、役員会、研修会の企画と運営。先進地視察(隔年開催)の実施。									総会、役	員会開催回	数				回		
今年度計画(今年度に計画している主な活動)									イ 研修会開催数						回		
気仙二市一町の選挙管理委員会の連合会の運営業務。 総会、役員会、研修会の企画と運営。										修会参加延					人		
<u> </u>	5 4	·鱼(洲 荷太	.計争に1.7	r1\Z/	D47) + 1 +	白ெ然多酒生		6	対象指標	(対象の大きさを 名 利		標)		_	単位		
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 支会構成市町の選挙管理委員と事務局職員									支会構成市町の選挙管理委員会委員数						人		
								5 / ₊	同上の事務局職員数						人		
					をどう変える			2									
1	计	門の選挙官場	里安貝会の芸	見状と記	果題を的確に打	世涯する		7	<mark> </mark> 成果指標	(対象における)	意図の達	成度を見	もす指標)	╅			
									名称						単位		
 ④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									サ 総会、研修会の出席率(選挙管理委員)						%		
		i的に質の高い				_ 0,0.31 = 30 lis	,, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				会の出席率(事務局職員)				%)	
														+			
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \																	
(2)	/ 不觉	尹未頁"怕作	宗寺の推移	9	年度	27年度 (実績)	28年度(実績)	29年	度(目標)	30年度(目	標)	31年	度(目標))	32年度((日標)	
		_{tt} 国庫支出			千 円	· · /文 〈入小泉/	1 人 (入小県)	_5-	人、日		1/1/	3.7	<u>~ \ </u>		112	· III /	
	事業費		都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計(A) 規職員従事人数		千円												
		内地方領			千 円									+			
投 入		一般財源			千 円	15	15		15		15		15	_		15	
量					千 円 人	15 2	15 2		15 2		15 2		15			15 2	
	人件 #	延べ業務時	間		時間	75	115		75		115	75		5	115		
	費	(B) トータルコスト(A)+(B)			千 円	300 315	460 475		300 315		460 475		300 315	_		460 475	
		1>//-	1 277 - 271 (A) 1 (D)		回	1	4/3		1		1			1		4/3	
		⑤活動指標			回	1	1		1		1			1		1	
				ウ	人	36			34		32		3	_		32	
			カ	人	12			12		12		1			12		
		⑥対象指	隱	キ ク	人	5	5		5		5			5		5	
				サ	%	100	91.7		100		100		10	0		100	
		⑦成果指	標	シ	%	100			100		100		10	_		100	

0765

事務事業名 岩手県市町村選挙管理委員会連合会運営事業

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

昭和25年に気仙広域である二市二町(当時)の選挙管理委員会における、選挙事務に関する情報交換、研修の機会として設けられた。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか?

地方分権の推進により、各市町選挙管理委員会において、各々の市町の現状を的確に捉えた、より適正で効率的な事務執行が強く求められている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

各市町の委員から事務事業の継続と、更なる充実を望む意見が提出されている。

評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

⇒【理由】 見直し余地がある ① 政策体系との整合性 結びついている ⇒【理由】 二市一町それぞれの選挙執行事務の運営課題等について、協議、研修(研究)することは当市の選挙業務の改善 の事務事業の目的は当市の政策体系に 結びつくか?意図することが結果に結び ついているか? に有効である。 目 的 見直し余地がある ⇒【理由】 ② 公共関与の妥当性 妥 妥当である ⇒【理由】 ▽ 当市は、専任の事務局員が2名配置されて ことから、支会の事務局を担当している。(陸前高田市は1名、住田町は総務課職員が兼任) なぜこの事業を当市が行わなければなら 事務局として、常に情報収集や研修(渉外)等の事務を行うことにより、他市町より事務能力や情報収集能力のスキルアップが高くなる。 性 ないのか?税金を投入して、達成する目 評 ⇒【理由】ラ 伳 見直し余地がある ③ 対象・意図の妥当性 V 適切である **⇒【理由】**□ 現状で適切である。 対象を限定・追加すべきか?意図を限 定・拡充すべきか? 向上余地がある **⇒【理由】**" ④ 成果の向上余地 向上余地がない 委員、事務局職員の研修機会や情報交換の場を確保するとともに、今後も現状に即した研修テーマを取り上げて 成果を向上させる余地はあるか?成果の 現状水準とあるべき水準との差異はない いく。 か?何が原因で成果向上が期待できない 效 性 影響無 ⇒【理由】 評 ⑤ 廃止・休止の成果への影響 ✓ 影響有 ⇒【その内容】 つ 佃 気仙広域の委員、事務局職員の研修及び情報収集の機会の場が少なくなる。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の 有無とその内容は? ⇒【理由】 ラ 削減余地がある ⑥ 事業費の削減余地 削減余地がない ⇒【理由】 ' 今後の事業予定を計画し精査したことにより、平成26年度から分担金の減額を行った。 成果を下げずに事業費を削減できない か?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 率 性 ⑦ 人件費(延べ業務時間)の削 削減余地がある ⇒【理由】 ラ 評 減余地 削減余地がない ⇒【理由】□ 価 やり方を工夫して延べ業務時間を削減で 現状では、会議、研修の機会は最低限のものとしており、職員の体制も最低人員で対応している。 きないか?成果を下げずにより正職員以 外の職員や委託でできないか?(アウト ⑧ 受益機会・費用負担の適正 見直し余地がある **⇒【**理由】 **-平** 化余地 ✓ 公平・公正である ⇒【理由】▽ 性 気仙二市一町で応分の分担金額とした。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて 不公平ではないか?受益者負担が公平・ 公正になっているか?

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)



4 課長等意見

(1) 今後の方向性 (2) 全体総括・今後の改革改善の内容 委員及び事務局職員にとって、貴重な研修の機会となっているので、今後とも研修内容の充実 (1) 現状維持 に努める必要がある。 な革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止